

黒磯ロータリークラブ会報

国際ロータリー会長: マーク・ダニエル・マローニー
 第 2550 地区ガバナー: 川嶋幸雄
 事務所: 〒325-0826 宇都宮市西原町 142
 宇都宮グランドホテル内
 TEL: 028-651-2550
 FAX: 028-651-2551
 E-mail: m2550@agate.plala.or.jp



会長: 吉光寺政雄 幹事: 藤崎善隆
 事務局: 宗教法人 日蓮宗 等覚院
 代表役員住職: 藤崎善隆
 〒325-0045 那須塩原市高砂町5-41
 TEL: 0287-62-0187 FAX: 0287-62-3947
 E-mail: jusyoku@tougakuin.or.jp
 例会: 国民の祝日を含まない週の水曜日
 12:30 - 13:30
 割烹石山 那須塩原市本町 5-5

第2875回 吉光寺年度 第22回 会報 2020 2-5 司会 小野安正君

🌀 お客様

● 米山記念奨学生 権鎬珍様



さて、今週日曜日はIMが勝田屋さんで開催されます。このIMは通常、ガバナー補佐輩出クラブが主催しています。来年度大島年度では、当クラブから秋間忍会員がガバナー補佐として輩出され、黒磯クラブがホストとしてIMを開催することになるかと思えます。多くのメンバーで参加したいと思いますので奮ってのご参加をお願い致します。

本日はクラブフォーラムにお時間を割かせて頂きますので、このあたりで失礼致します。本日もどうぞ宜しくお願い致します。

🌀 会長挨拶 吉光寺政雄会長



皆様こんにちは。最近是中国武漢発のコロナウイルスの話題で持ちきりの感があります。このコロナウイルスは、人を介して感染する、致死率が高い為大変恐れられています。東京の方では、街を歩く人々のマスク姿がほとんどだそうです。マスクやうがい手洗いなどできる事をしながら、体調管理に努めていきたいところです。

🌀 幹事報告 稲垣政一副幹事



(第22回幹事報告)

1. 会員推薦の件
 前回例会時にご報告致しました会員推薦の件ですが、異議申し立てございませんでしたので、推薦人の方は入会の手続を進めて頂くようお願い致します。
2. インターアクトクラブ海外研修中止の件
 コロナウイルス感染拡大の影響を受け、台湾との交流事業中止の連絡が参りました。秋間青少年奉仕委員長へ転送し、各所への連絡を依頼致しました。
3. IMについて

出席報告 出席委員会 秋葉秀樹君

(出席規定の免除会員数7名)

例会日	会員数	出席数	欠席数	出席率	MU数	修正出席率
本日 2月 5日	37 (7)	32 (5)	5 (2)	91.4%		
前回 1月29日	37 (7)	31 (4)	6 (3)	91.1%	1	94.1%

欠席の場合は前日 9 時 30 分までに次のいずれかにご連絡を。電話 62-0128、FAX62-1076 (以上石山桂子)
 メール gqvn2bz9k@sound.ocn.ne.jp

来る2月9日は大田原市勝田屋記念会館にて第1グループIMが開催されます。14時より登録、14時半点鐘となっております。バスをご利用の方は13時30分に石山さん出発ということで手配をさせていただきます。急なご欠席などのご連絡は幹事までお願い致します。改めてメールにてご案内致しますのでよろしくお願い致します。



米山記念奨学金贈呈



宇都宮大学農林共生社会科学博士課程3年 権 鎮珍君

親睦委員会 委員長 井出法君



今月1月の誕生祝いは村山茂君、月江寛智君、田中徹君、秋間忍君、和気勝利君です。結婚祝いは荒牧明二君、安藤譲治君です。

● 誕生祝い



村山茂君 月江寛智君 田中徹君
秋間忍君 和気勝利君

● 結婚祝い



荒牧明二君 安藤譲治君



委員会報告 荒牧明二副会長



皆様こんにちは、委員会報告を受け付けますので、報告のある委員会は報告願います。

● 会計 鳥居輝一君



会計からご連絡申し上げます。2月分口座引き落としのご案内でございます。4点ほどございまして、第1点、60周年記念積立金、会員全員1人10,000円でございます。2番目、クリスマス会費、出席者1名4,000円、3歳以下は無料でございます。3番目、新年会会費、出席者1名4,000円。4番目、旅行会費、2月から4月分、旅行会会員1名9,000円でございます。

2月20日に引き落としますので宜しくお願いします。

● 旅行愛好会 会長 大森貞男君



今日は黒磯ロータリークラブ旅行愛好会より、桜追っかけの出欠のご案内を申し上げます。旅行愛好会会員でない方でも結構です。4月5日(日)多くの参加者が楽しんで、行きたいと思えます。

😊 ニコニコボックス 齋藤幸夫君



- 吉光寺政雄君 今日もよろしくお願ひします。
- 荒牧明二君 結婚祝ひありがとうございます。
- 安藤譲治君 結婚祝ひありがとうございます。
- 田中徹君 70歳！定年かな……
- 佐藤博君 事務局より連絡がありました。
- 鈴木隆子君 立春も過ぎ、いい季節がやってきました。
- 村山茂君 誕生祝ひありがとうございます。
- 月江寛智君 誕生祝ひ有難うございます。

🌀 卓話 クラブフォーラム
吉光寺政雄会長

改めまして皆様こんにちは。本日は会長主催のクラブフォーラムでございます。皆様ご承知の通り、このクラブフォーラムではクラブの課題について、皆さままで話し合うことになっています。

本日の課題としては、次年度大島年度で受け入れることとなります、一年交換留学生について、秋間青少年奉仕委員長に卓話をお願い致しました。一年交換留学生は、直近では台湾から来たニコルさんが2013-14年度にお見えになりました。一年交換留学生を黒磯クラブで受け入れる場合に、どのような負担があるか、或いはどのような楽しみがあるか、経験のある会員からご意見を伺いたいと思ひます。それでは秋間委員長宜しくお願ひ致します。

● 青少年奉仕委員長 秋間忍君



この度は、大島三千三(2020~21)年度の一年交換学生受け入れをご了承いただき誠にありがとうございます。

受け入れ学生の詳しい情報はまだ聞いておりませんが、お陰様で第一グループの各クラブ、地区青少年奉仕委員会に受け入れ受諾の報告をすることができます。

そこで吉光寺会長から、新入会員はじめ一年交換学生の実態についてあまり知らない会員もおられるので、2月5日の例会(クラブフォーラム)で「一年交換学生とは一体どんなことをするのかといった情報交換を行ってはどうでしょう」というご提案をいただきました。

つきましては、当時ニコルのホストファミリーを務めていただいた澤田さん、時庭さん、秋間、和気さん、高木さん(当時新世代奉仕委員長)、それにカウンセラーを務められた相馬さんに、それぞれ数分のスピーチ(体験談)をいただきたいと思ひます。それでは、順次よろしくお願ひいたします。

<ニコルのホストファミリー体験>

ニコルのホストファミリーを務めさせていただいた時の体験を紹介させていただきます。

ニコルを我が家で預かることになった頃は、我が家の大人は全員朝から晩まで現役で働いておりましたので上手くお世話できるかどうか不安でした。

それでもニコルより年下の孫たち三人が新しいお姉さんができたかのように接してくれたので大変助かりました。

今でもニコルがタピオカを作ってくれたとか、ニコルが病気で学校を休んで家で寝てたとか話題に

なることがあります。

私が印象に残ったことといえば、車で学校の送迎をしている時などに狭い道で相手の車が道を譲ってくれるのを見て「台湾ではこういうことはない」と言っていたこと、スキーに連れて行ったら、うまく滑れないニコルが自分に対して「なぜ私うまく滑れないの？」って言っていたこと、一方、当時の旅行愛好会がせっかく台湾からきたのだからニコルを北海道の雪祭りにつれてってやろうと北海道ツアーを企画してくれました。

旅行の直前に本人がインフルエンザにかかり「ニコルは北海道旅行に行けなくなった」と伝えたときのニコルの表情など、いろいろな場面で異文化との出会いがありました。

我が家がホストファミリーをさせていただいたお陰で家族全員、身近な国際交流と国際親善を体験することができたことに感謝しております。

● 澤田吉夫君



2020年2月5日1年交換留学生(ニコル)受け入れ発表

以前1998-1999年フランスからの一年交換学生(マリアン)を受け入れた事から、経験があるのでニコルも受け入れたわけです。

私の孫も丁度、黒磯高校の1年生に入ったばかりだったので、条件的にはよいと思いお預かりした次第です。

発表するにあたり少し日記を紐解いて調べてまいりました。2013年8月25日に高木慶一さん、平山博さんと私の3名で成田空港に迎えに行き連れてまいりました。なかなか見つからず、苦労したのを覚えております。この日から10月末日まで我が家にて、寝起きを共にしました。

9月2日より黒磯高校に入学して通学を始めました。ロータリー例会に出たり地区大会にも参加しました。9月17日皆さんでニコルの誕生お祝いをしていただいたこともありました。日光東照宮や横浜中華街、富士山を見に河口湖などにも行きました。

珍しいところでは、私が、仕事柄競馬関係の仕事もさせていただいているので茨城の美浦トレーニングセンター内を見学ができ、大変喜んでいたので思い出します。11月2日次のホームステイ先の時庭稔さんにお渡ししました。

● 時庭稔君



ニコル ホストファミリーについての体験談
リビングで過ごすことが多かったです。こたつにパソコンを持って来て、パソコンで母国の家族と電話をしたり、メールをしていました。部屋に戻るのには寝るときぐらいだった気がします。寂しさがあったのかもしれない。

餃子が好きで『お母さん今日餃子食べたい』と毎週リクエストをしてきました。週1回の国際交流協会が主催している日本語教室に行くのを楽しみにしていました。

日本に来て体重が増えたので、朝ご飯は『少なくて良い。少なくて良い。』と毎日話していました。

お風呂ですが湯船に浸かることは少なかったです。シャワー室しか使用していませんでした。

会社の若手社員が何度か会いに来ましたが、日本で流行っているマンガやキャラクターの話を楽しそうに話していました。

以上が簡単な体験談です。と妻が話していました。

● 和氣勝利君



皆さんこんにちは、暫くぶりでここに立たせて頂きました。有難うございます。

ニコルを受け入れた順番は秋間さんの次でした。実は最初の前定では秋間さんの前に受け入れるわけでしたが、秋間さんから連絡があり、年度末で忙しいので先にやらせてくださいとのことで急遽、秋間様の後に二ヶ月半預らせて頂きました。

ニコルを私が預かった時は、家の子供達と5~6歳違いだったでしょうか、家族としては1番下の妹

ができたという思いでした。

私の家はニコルの学校と近く、カバンとリュックサックを背負って何時も朝に「行ってきまーす」と言って歩いて通学していました。帰りも4時ごろになると「ただいまー」と必ず挨拶をして帰ってきたのを覚えております。

やはり私生活では時庭様のお話と同じで、とにかく餃子が好きで、欲しいものを聞くと餃子と言っていたのを記憶しております。

一つだけ紹介して感想を述べさせていただきます。大田原中央クラブ会長をされていた奥様が、たまたま私と知り合いで茶道の先生をされていました。ニコルの話をしたら是非とも来てくださいということで、着物を着せて頂いて茶道を習いました。習い終わった後3人で大田原の道の駅に立ち寄ったところ、たまたまそこで当時すごく流行っていたフナッシーが来てました。ニコルは大変フナッシー好きで、フナッシーがステージに上がると、大きな声援をしていた記憶がございます。

最後になりますが、黒磯ロータリークラブは1年交換学生を4から5ファミリーが受け入れて二月から三月預かっておりました。今まで受け入れていない方は良い経験となりますので受け入れ願います。

一つアドバイスしたいのが、特別な所へ連れていくとか特別なものを見せるとかという気持ちは無くとも良いと思います。普段通りの日本の生活を一緒にすることが互いに良い思い出になると思います。

● 高木慶一君



1年交換学生受け入れは派遣RCが所属するRI地区とRI2550地区との契約による黒磯RCの受け入れとなります。1年交換学生は1年間学生として高等学校に入学することが条件になりますので、黒磯高校に了解を取ることが必要になります。

2550地区の青少年委員会と書類のやり取りがかなりあります。他のクラブでは交換学生を受け入れ時のホストファミリーはその年度の青少年委員会の委員長さんが受けているのが殆どなのですが、ニコルの場合、黒磯クラブではクラブとして受け入れましょう、そう言う意識を持ちましょうとの考えにより5ファミリーで受けることになりました。

カウンセラーに相馬正志さん第1ホストファミリーに澤田吉夫ファミリー、2番目時庭稔ファミリー、3番目秋間忍ファミリー、4番目に和気勝利ファミリー、最終に帰国準備があるので委員長の高木慶一ファミリーがお受けしました。

ニコルは修学旅行にも連れて行ってもらいました。大変勉強になったと思います。

平山博会長のお骨折りでホストファミリーを中心に6月1日から1泊2日の京都大阪見学旅行に連れて行きました。翌年の2月に札幌の雪まつりに大森貞男会長の旅行愛好会の企画で連れて行く予定でしたがニコルは風邪のためお留守番となりました。

クラブの金銭的負担ですが、地区から前期400,000円後期400,000円助成金がきます。第1グループの会員から助成金を頂きました。

黒磯高校の制服や国民健康保険にも入りますのでこまごました出費があります。クラブとしても予算計上の必要があるかと思えます。

交換学生はお客さんではありません、ホストファミリーの一員として勉強や家事の手伝いなどを通して日本の家族、日本文化などを身体で覚えて帰ってもらうのです。そのための小旅行や文化遺産めぐりなどは良いことと思えます。

● 相馬征志君



しんがりを務めさせていただく相馬でございます。

交換留学生であるニコルを受け入れた時は、私はカウンセラーという立場でした。カウンセラーから言わせて頂ければ、非常に良いお嬢さんだったという印象です。理由は簡単です、まったく手を煩わされることは無かったからです。

さて、今までお話しされた方とは別な角度からExchange studentについて私の思いをお話しさせていただきます。

黒磯ロータリークラブで最初の交換学生として引き受けたのがオーストラリアのシャノン・ジェーン・ビューティーとい女の子でした。この子のホームステイをクラブで私が最初に引き受けました。黒磯高校に連れて行ったり、生活全般についてお世話しましたが、文化的にはヨーロッパ圏ですから、全く文化が違いました。日本語が全く出来なく、また訛

りの強い英語で話してくるというのが印象でした。

次に来たのがPellerin Lindsayというアメリカのノースカロライナ州、大西洋の田舎町、案内では両親そろっていることになっておりましたが、実際には離婚状態で父親とは一緒に住んでおりませんでした。母親が娘恋しくて途中でアメリカから遊びに来たということもありました。

3人目にお預かりしたのがフランスのStein Claireでして、アルザス地方の首府ストラスブールの私立の高校の英文科に在籍していました。皆さんお分かりだと思いますが、フランス人はフランス語以外の言葉は、あまり話したがりません。私が最初にフランスに行った時も英語が通じない。でも、そんなことはなく、相手は英語は分かっているが、お国柄フランス語で話して来いという態度でした。

フランスにいたときから、彼女は日本語に興味があり、たまたま私立学校の先生がロータリアンでしたので、交換留学生として日本に行くことを進められたそうです。また、おじいちゃんからも、日本というのは科学技術、文化的にも優秀な国なんだから行って来いと、両親を説き伏せてくれ、応募し日本に来られたそうです。偶然にも両親の職業が私と同じで自動車屋でした。

この3人を引き受けた経験から共通して言えることは、この交換プログラムは何がプラスになるかというと、日本は素晴らしい国ですから交換留学生が良い意味で影響を受けていることは間違いありません。また受け入れた高校にも、かなりの良い影響が私にはあったと聞いております。

最初の交換留学生シャノン・ジェーン・ビューティーは、英語の時間に張り切って行ったらオーストラリアの英語が通じない。オーストラリアの英語が直される、英語の時間が嫌いになったと言っていました。ところが後で先生が言うには、私たち学校で教えるのは受験英語で会話としては成り立たないが、生徒たちは、彼女との話を通して英語の便利さと素晴らしさ、そして難しさを会得した言っていました。

二人目のStein Claireは日本文化に憧れてきたのですが、子供っぽいところがございました。

三人目のStein Claireから今年の7月17日～18日の二日間、結婚式に招待されました。家族全員の招待でしたが、仕事上忙しく私の妻と息子3人で行きました。今でも付き合いがあり、日本が大好きで毎年来日します。

いずれにしても交換留学生プロジェクトは無論、本人の為になりますが、受け入れた学校も非常にプラスになります。秋間さん、受け入れる高校には、御校には非常にプラスになると言ってください。

● 2013～2014平山年度 一年交換学生ニコル

2013-8-28



2月5日欠席(敬称略)
荒井昌一・藤崎善隆・檜山達郎・高木茂
前田貴宏

前回 1月29日分メイクアップ(敬称略)
田中徹

次回例会

令和2年2月19日

担当 地区委員

近隣クラブ例会日

○火曜日 西那須野/いとう屋 0287-36-0028
○水曜日 塩原/塩原カントリークラブ 0287-35-2211
○木曜日 大田原中央/勝田屋記念会館 0287-23-4165

近隣クラブ例会日

○木曜日 大田原/ホテル龍城苑 0287-24-2525
○金曜日 黒羽/ホテル花月 0287-54-1105

会報委員会：高木茂・稲垣政一・鳥居輝一・秋葉秀樹